



自由研究

クラス

名前

神戸さや

タイトル：自分らしさがなくなっていく病気は治すのではなく、止める事が大事

どんなお仕事？：アルツハイマー病の研究

話を聞いた人：星先生

人間の脳細胞は一度、死んでしまうと、二度ともどらないため、アルツハイマー病の治療薬は治す事よりも、進行を止めることが目的になるとお話を聞いて、驚きました。

現在の薬だと2年ぐらいアルツハイマー病を止める事ができるようですが、もっと長い期間、進行が止められるように、星先生は脳細胞の研究をされているという事で、研究室にある顕微鏡とかは、すごく小さな一つ一つの細胞まで見ることができて、その小さな細胞に人間の記憶が残っているのは初めて知りました。

これまで生きてきた中での出来事とかが積み重なって、私という性格、キャラクターを作っていて、それが他の人と自分との違いや個性になるので、日々の出来事を大切にしようと思いました。

